



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社 シマノ
コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 島野 容三
(氏名) 平田 義弘
配当支払開始予定日

TEL 072-223-3254
平成25年9月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	133,106	7.7	21,229	△3.0	24,681	13.8	17,782	16.6
24年12月期第2四半期	123,559	15.3	21,877	43.5	21,691	58.9	15,247	120.8

(注)包括利益 25年12月期第2四半期 33,631百万円 (107.6%) 24年12月期第2四半期 16,198百万円 (76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	191.81	—
24年12月期第2四半期	164.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	291,382	246,509	84.3
24年12月期	257,707	216,364	83.7

(参考)自己資本 25年12月期第2四半期 245,638百万円 24年12月期 215,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	37.50	—	37.50	75.00
25年12月期	—	43.50	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	43.50	87.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 37円25銭

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	5.8	43,000	5.0	46,000	16.3	31,000	12.8	334.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	92,720,000 株	24年12月期	92,720,000 株
25年12月期2Q	14,027 株	24年12月期	13,134 株
25年12月期2Q	92,706,404 株	24年12月期2Q	92,707,528 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3 . 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、欧州ではポルトガル政府の財政運営に懸念が示され、底這い状況が続く景気の底割れ回避のために欧州中央銀行の一層の金融緩和、低金利政策の長期化が見込まれています。米国景気は緩やかな回復基調に入り、失業率も低下傾向となりました。その結果、足元の景気見通しについても、未だ力強さには欠けるものの次第に底堅さを増すことが期待されるところとなりました。

一方、国内におきましてはアベノミクスへの期待感で支えられた円安・株高という流れが一服しました。実体経済は着実に持ち直し実質雇用者所得が底堅く推移するなかで、景気回復に向かうことへの期待が高まりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は133,106百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は21,229百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は24,681百万円（前年同期比13.8%増）、四半期純利益は17,782百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

なお、平成24年2月8日に公表いたしましたとおり、前連結会計年度より連結子会社27社の事業年度末日を従来の11月30日から12月31日へ変更いたしました。これにより前第2四半期連結累計期間は7ヶ月となっております。この結果、前第2四半期連結累計期間において売上高2,858百万円、営業利益1,591百万円、経常利益1,719百万円、税金等調整前四半期純利益1,719百万円それぞれ増加いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自転車部品

欧州では、年初からの寒く厳しい天候に引き続き4月以降も天候には恵まれないまま半年が過ぎ、小売店における販売は景気の停滞感とも相まって低調に終わりました。厳しかった冬の影響を受けた日本の小売店販売は、依然として低調に推移しました。米国では、年初は天候に恵まれない地域が多かったものの、5月以降は天候の回復とともに小売店における販売は回復しました。

一方で持続的成長を続ける新興国市場の中でも、とりわけ中国スポーツタイプ自転車の販売は今年も引き続き力強い成長を続けています。

欧米の完成自転車の市場在庫はやや高めなもの、部品の流通在庫は適正範囲で推移しています。

このような市況のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、マウンテンバイクコンポーネントの「DEORE」、「ALTUS」、ロードバイクコンポーネントの「CLARIS」をはじめとする新製品の販売も順調に推移しました。加えて当社製品に対して欧米市場から更なる支持を受けたことや円安に恵まれたこともあり、第2四半期の売上は予定どおり達成することができました。

この結果、当セグメントの売上高は106,096百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は20,304百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

釣具

国内市場では、年初から例年になく寒いスタートのあと、ようやく3月になり小売市場でも動き出しの気配も見られました。ゴールデンウィーク前後から天候も安定したためファミリー層など一般層の釣り人の動きも良くなり小売市場も盛り上がりを見せました。当社製品におきましては昨今のソルトウォーター人気を反映し、特に3月発売のNEWステラSWの販売が好調でした。

一方、海外市場では欧州での景気低迷に加え、欧州・北米ともに天候不順が続くなど厳しい状態が続いております。アジアにおいては中国経済の減速が懸念されましたが、東南アジア市場が好調であったことにより小売店への販売は順調に推移しました。豪州においても干ばつなど天候による影響が懸念されましたが小売店への販売は引き続き順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は26,818百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は991百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

その他

当セグメントの売上高は191百万円（前年同期比16.8%減）、営業損失は65百万円（前年同期は営業損失72百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は291,382百万円(前連結会計年度比33,675百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が17,917百万円、商品及び製品が1,939百万円、建物及び構築物が1,840百万円、建設仮勘定が5,737百万円、投資有価証券が2,307百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は44,873百万円(前連結会計年度比3,530百万円の増加)となりました。これは、短期借入金が2,501百万円、その他流動負債が1,566百万円増加し、長期借入金が921百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は246,509百万円(前連結会計年度比30,145百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が14,305百万円、為替換算調整勘定が14,239百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、112,712百万円(前連結会計年度比17,903百万円の増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、24,196百万円の収入(前年同期は18,277百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前当期純利益24,346百万円、減価償却費5,948百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額7,608百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,296百万円の支出(前年同期は5,559百万円の支出)となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出11,301百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,878百万円の支出(前年同期は9,046百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金の支払額3,476百万円等によるものです。また収入要因は短期借入金の純増額2,029百万円によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、中核市場である欧州での政府債務問題等による金融面への不安が依然として残ります。また、米国においては景気が緩やかな回復傾向で推移すると見込まれていますが、財政問題への対応による影響等が懸念されます。

国内におきましては、円高基調に振れつつあるものの、堅調な輸出や個人消費を背景に、企業による設備投資の動きが活発になりつつあり、景気の回復が見込まれます。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成25年4月23日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高260,000百万円、営業利益43,000百万円、経常利益46,000百万円、当期純利益31,000百万円とさせていただきます。

また、当社グループは株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており安定的な価値の維持・継続とともに実績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき今回の中間配当金につきましては、前年同期から6円増配の1株当たり43円50銭(うち特別配当37円25銭)とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても前期から12円増配の1株当たり87円を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、Shimano Nordic Denmark ApS については新規設立により、連結の範囲に含めております。

また、Shimano Europe Retail Division B.V.はBikefitting.com Holding B.V.から社名を変更しております。

当第2四半期連結会計期間において、Shimano (Philippines) Inc. については新規設立により、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,950	112,868
受取手形及び売掛金	27,845	28,237
商品及び製品	25,613	27,553
仕掛品	17,209	18,032
原材料及び貯蔵品	5,091	4,679
繰延税金資産	2,232	2,423
その他	3,090	3,892
貸倒引当金	236	290
流動資産合計	175,798	197,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,499	26,339
機械装置及び運搬具(純額)	14,493	15,240
土地	11,256	11,443
リース資産(純額)	431	468
建設仮勘定	5,800	11,538
その他(純額)	4,594	4,498
有形固定資産合計	61,076	69,529
無形固定資産		
のれん	3,727	3,944
ソフトウェア	1,916	2,272
その他	3,446	4,705
無形固定資産合計	9,090	10,922
投資その他の資産		
投資有価証券	8,569	10,877
繰延税金資産	1,058	279
その他	2,602	2,850
貸倒引当金	488	473
投資その他の資産合計	11,742	13,533
固定資産合計	81,908	93,986
資産合計	257,707	291,382

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,161	11,122
短期借入金	5,915	8,417
未払法人税等	6,582	5,756
繰延税金負債	222	241
賞与引当金	1,268	1,304
役員賞与引当金	193	88
その他	11,321	12,887
流動負債合計	35,665	39,818
固定負債		
長期借入金	1,070	149
繰延税金負債	742	880
退職給付引当金	2,681	2,804
その他	1,182	1,221
固定負債合計	5,677	5,055
負債合計	41,342	44,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,822
利益剰余金	176,808	191,114
自己株式	47	54
株主資本合計	218,197	232,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	913	2,365
為替換算調整勘定	3,462	10,777
その他の包括利益累計額合計	2,548	13,142
少数株主持分	716	870
純資産合計	216,364	246,509
負債純資産合計	257,707	291,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	123,559	133,106
売上原価	76,931	84,907
売上総利益	46,628	48,198
販売費及び一般管理費	24,751	26,968
営業利益	21,877	21,229
営業外収益		
受取利息	426	436
受取配当金	264	131
為替差益	-	3,058
その他	347	215
営業外収益合計	1,038	3,841
営業外費用		
支払利息	174	158
為替差損	813	-
その他	235	231
営業外費用合計	1,224	390
経常利益	21,691	24,681
特別損失		
工場建替関連費用	254	334
特別損失合計	254	334
税金等調整前四半期純利益	21,437	24,346
法人税、住民税及び事業税	6,532	6,495
法人税等調整額	395	10
法人税等合計	6,136	6,505
少数株主損益調整前四半期純利益	15,300	17,840
少数株主利益	52	58
四半期純利益	15,247	17,782

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,300	17,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	1,451
為替換算調整勘定	688	14,338
その他の包括利益合計	897	15,790
四半期包括利益	16,198	33,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,144	33,473
少数株主に係る四半期包括利益	53	157

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,437	24,346
減価償却費	4,798	5,948
受取利息及び受取配当金	691	568
支払利息	174	158
為替差損益(は益)	620	1,492
売上債権の増減額(は増加)	463	946
たな卸資産の増減額(は増加)	5,258	1,570
仕入債務の増減額(は減少)	2,087	61
有形固定資産除売却損益(は益)	75	191
未払賞与の増減額(は減少)	1,437	1,545
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,130	-
その他	338	1,328
小計	22,748	31,380
利息及び配当金の受取額	718	583
利息の支払額	171	158
法人税等の支払額	5,017	7,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,277	24,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	419	-
定期預金の払戻による収入	3,513	-
有形固定資産の取得による支出	7,961	11,301
無形固定資産の取得による支出	471	1,168
投資有価証券の取得による支出	300	-
その他	79	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,559	12,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,583	2,029
長期借入金の返済による支出	736	1,418
ファイナンス・リース債務の返済による支出	4	6
自己株式の取得による支出	3,861	6
配当金の支払額	2,859	3,476
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,046	2,878
現金及び現金同等物に係る換算差額	910	8,881
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,581	17,903
現金及び現金同等物の期首残高	78,549	94,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,130	112,712

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,005	25,323	230	123,559	—	123,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	98,005	25,323	230	123,559	—	123,559
セグメント利益又は損失(△)	20,352	1,596	△72	21,877	—	21,877

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	106,096	26,818	191	133,106	—	133,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	106,096	26,818	191	133,106	—	133,106
セグメント利益又は損失(△)	20,304	991	△65	21,229	—	21,229

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。